

中学3年国語「古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう」

ねらい

- ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。
- ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。
- ・文章の種類を選択し、読み手を説得できよう、論理の展開を考えて文章の構成を工夫することができる。

学習展開（4時間）

第一時

＜古典の言葉を使って、思いを伝える文章を書こう＞
～どんな古典の言葉を用いて、何を伝えたいか～

- ・様々な古典を紹介した図書資料を読み、心が動かされる言葉を見つけ、見つけた言葉を使って、どのような思いを伝えたいのかを考える。

第二～三時

＜文章の形態や構成を考え、清書しよう＞

～だれに対して、どのような文章を書くか～

- ・思いを伝えるのに適した構成を考えて下書きした後、原稿用紙に清書する。

第四時

＜最優秀古典の言葉大賞を決めよう＞

～古典の言葉からどんな思いが伝わってきたか～

- ・グループで代表作を選出した後、全体で代表作を読み合いもっとも心に残った作品を決める。

古典に関する本の展示&授業の様子



指導のポイント

第一時の導入場面において、自分たちが書く文章のイメージを持たせるために、古典の言葉を用いた文章の例を示した。

また、生徒が主体的に言葉を見つけられるように、古典に関する本を紹介するとともに、国語科教室に展示し、自由に借りられるようにした。

第二時～三時では、自分の思いを伝えたい相手を想定させ、その思いを伝えるのに適した文章の形態や構成を考えさせた。

第四時では、古典の言葉からどんな気づきや学びを得られるのかを考えさせるために、お互いの文章を読ませ、古典の言葉をうまく用いて思いを伝えていた作文を選ばせた。

学校図書館との関わり

古典の学習が始まる段階で、三年間の古典学習の集大成として、「古典の言葉を使ってメッセージ作文を書く」ということを予告し、生徒が主体的に古典の言葉を見つけられるよう、古典に関する本を図書館に展示し、自由に借りられるようにした。

また、国語科担当と学校司書から古典に関するおすすめの本を紹介したり、古典の名言を一覧表にして紹介したりして、自分で見つけるのが難しい生徒も見つけられるように支援した。